

「第 12 回 製剤機械技術学会 仲井賞」選考員会審査結果報告

審査委員 6 名の厳重な審査により、下記の応募者は仲井賞に相応しい技術であるとの結論に達しましたので、ご報告申し上げます。

1. 応募者：大成建設株式会社 大塚 史久、高浜信一郎、古谷 仁、野口幸広、
山岡洋一
2. 業績題目：医薬品施設エンジニアリング技術の高度化

今回の候補者らの業績は、従来の候補者の業績とは異なり、エンジニアリングや設計におけるアレンジ的な技術がオリジナルで独創的であるか否かの確証がない。すなわち、今回の資料では判断できない。などの意見があったことを申し添え、今後本賞への応募に支障がないことを祈る。しかし、候補者らは、今まで高品質でかつ生産性の向上を目的に医薬品施設の設計・施工を遂行してこられた。すなわち、生産機器の自動化、ハンドリング機器の開発、AGV、スタックレーンによる工程間搬送、IT 技術を活用した MES の導入など継続的に技術の提案を行い、160 社、800 件のプロジェクトを完成させている。近年では、固形製剤施設における高品質、高効率およびフレキシビリティを備えた 3 次元フロービンシステムを普及させた。3 次元フロービンシステムは、少量多品質製造の課題であるコンタミネーションの防止に貢献している。以上のことより、仲井賞に相応しい業績であると考えます。

以上

平成 24 年 1 月 30 日